

⑥ リチウムイオン電池等の適正処理の推進

＜事例紹介 2＞

「電池エコシステム構築における
課題解決に向けた松田産業の取り組み」

松田産業株式会社

環境ソリューション事業部

ソリューション営業部（兼）企画推進部 部長 境 健一郎

電池エコシステム構築における 課題解決に向けた松田産業の取組み



松田産業株式会社 環境ソリューション事業部
ソリューション営業部（兼）企画推進部
境 健一郎

2026年 8月 6日



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

Contents

1. 会社概要
2. 蓄電池を取り巻く市場環境
3. 電池エコシステムと実現に向けた課題
4. 松田産業の電池リサイクル事業
5. 自治体や民間企業との連携
6. まとめ

Contents

1. 会社概要

2. 蓄電池を取り巻く市場環境
3. 電池エコシステムと実現に向けた課題
4. 松田産業の電池リサイクル事業
5. 自治体や民間企業との連携
6. まとめ

1935年

写真フィルムなどの感光材料や、現像に使われる薬品には、使い終わった後も銀が含まれていました。それらから銀を取り出して、再資源化することができるのではないかと。

そんな発想から、松田産業の **貴金属関連事業** は始まりました。



1948年

創業地の近くにあったマヨネーズ工場では、当時、卵白は不要なものとして廃棄されていました。その卵白をかまぼこの「つなぎ」として活用できないかと。

そんな提案をきっかけに、松田産業の **食品関連事業** が動き出しました。

貴金属事業

Precious Metal Business



限りある資源を未来につないでいく

規格外となった半導体・電子部品などから金・銀・プラチナ・パラジウム等の貴金属を、独自の技術で回収し高純度に精製。こうして精製された貴金属を、ブランド登録済みの地金として提供するだけでなく、貴金属製品として加工・販売することで、ものづくりの現場や資源循環の促進に幅広く貢献しています。

環境事業

Environment Business



環境を守り、資源を活かす

全国から発生する廃油、汚泥、廃プラスチックなどの産業廃棄物を、安全かつ適切に収集・運搬し、無害化処理を行います。さらに、それらに含まれる有価物を回収・リサイクルすることで、お客様のものづくりを支えながら、環境負荷の低減と資源循環に貢献しています。

食品事業

Food Business



食を通じて豊かな生活文化を実現する

国内外から厳選した水産物・農産物・畜産物を仕入れ、加工食品メーカーや外食・中食業界のお客様に提供しています。独自の加工技術と徹底した品質管理を活かし、安心・安全な商品をお届けするだけでなく、お客様のニーズに寄り添った提案を通じて、お客様の商品づくりをサポートしています。

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

 松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

5

Contents

1. 会社概要
2. 蓄電池を取り巻く市場環境
3. 電池エコシステムと実現に向けた課題
4. 松田産業の電池リサイクル事業
5. 自治体や民間企業との連携
6. まとめ

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

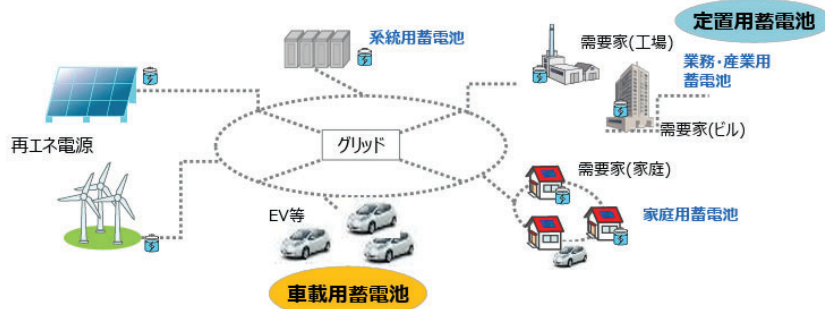
 松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

6

半導体は「産業の脳」、蓄電池は「産業の心臓」

蓄電池の重要性

- 蓄電池は2050年カーボンニュートラル実現のカギ。自動車等のモビリティの電動化においても最重要技術。
- また、再エネの主力電源化のためにも、電力の需給調整に活用する蓄電池の配置が不可欠。
- 5G通信基地局やデータセンター等の重要施設のバックアップ電源でもあり、各種IT機器にも用いられ、デジタル社会の基盤を支えるため不可欠なインフラの一つ。レジリエンス強化のためにも重要。
- 以上のように電化社会・デジタル社会において国民生活・経済活動が依拠する重要物資である。



出所) 2026年6月2日_蓄電池産業戦略推進会議 (参考資料)

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

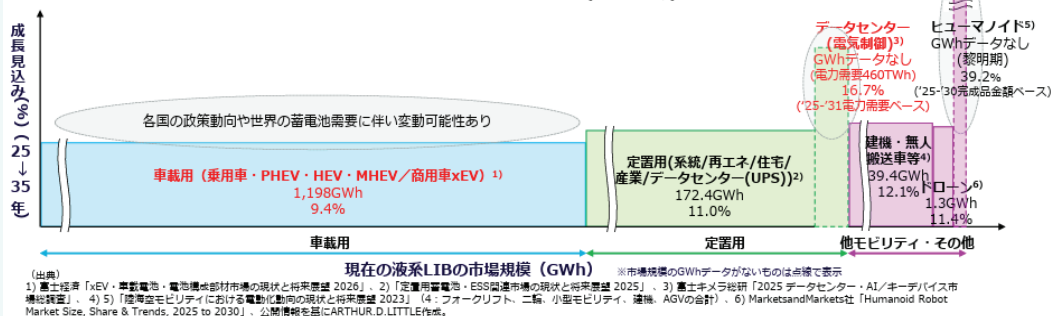
7

車載用及び定置用を中心に、引き続き高い成長が見込まれる

蓄電池の用途別の市場規模・成長見込み

- 蓄電池の市場規模は、**車載用と定置用が大宗**を占める。
- 車載用は、各国の政策動向等により需要の変動可能性があるものの、**現在の市場規模・将来の成長見込みともに引き続き大きな割合を占め**ると予想される。
- 定置用も市場規模・成長見込みともに大きい、例えば**データセンターにおいて、将来高い成長が見込まれており、蓄電池需要も増加**することが想定される。

＜蓄電池の用途別市場規模・成長見込み（グローバル）のイメージ＞



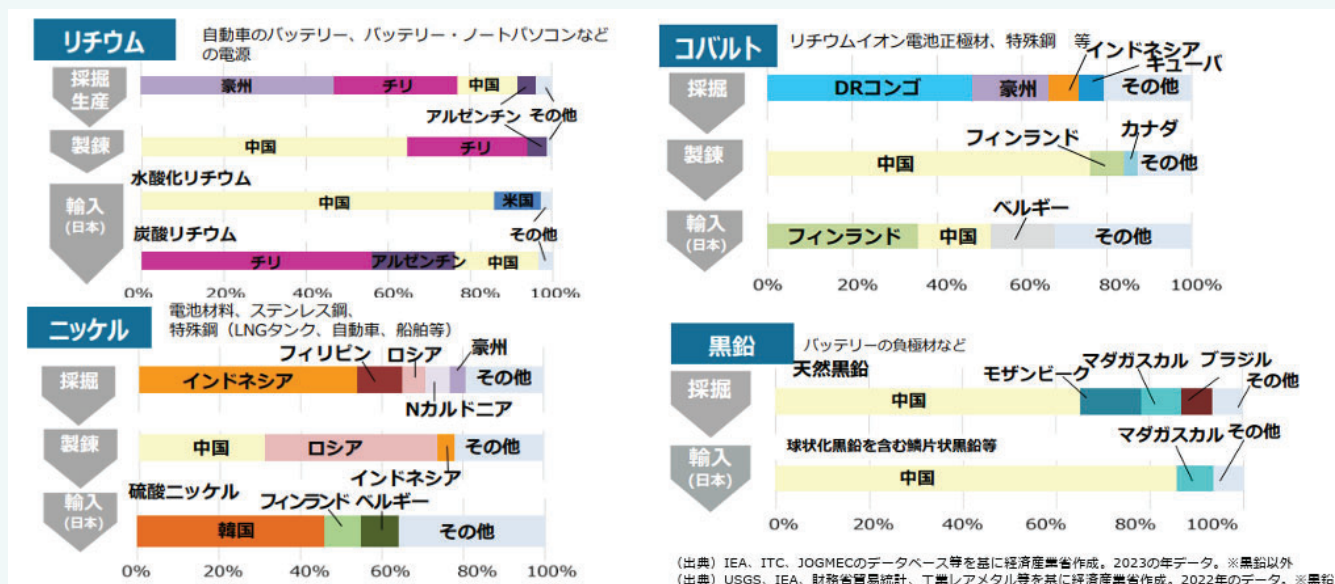
出所) 2026年6月2日_蓄電池産業戦略推進会議 (参考資料)

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

8

リチウム蓄電池に使用される金属資源等の多くは特定国に供給依存



出典) 蓄電池産業戦略推進会議 (参考資料) _ 2026年6月2日

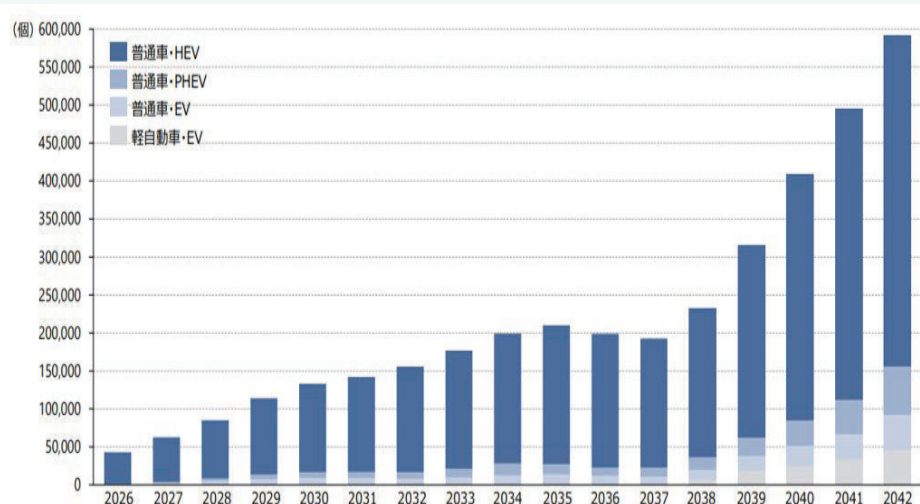
Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

9

調達リスクの軽減に向け、「使用済み製品の利活用」は必要不可欠

使用済電動車由来品の排出推計



2030年度 : 約13万個

急増

2040年度 : 約40万個

一方で...
中古車海外輸出は増加の一途
(金属資源の海外流出)

出典 : 経済産業省, 環境省 自動車リサイクル制度の個別論点の深堀について (2026)

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

10

「JBRC」によるスキームで回収されている電池は一部（火災事故・資源遺失）

【適正ルート（JBRC）】

2025年度実績： **約584 t**



資源有効利用促進法に基づく
回収スキーム

出典：JBRC, 小型充電池電池 安全回収のハンドブック（2025）

【それ以外のルート】

2019年度推計： **約16,000 t**



一般ゴミへの混入
不適切ヤード等への流入

金属資源としての
ポテンシャル高！

廃棄物処理施設における
火災事故発生件数推移



Contents

1. 会社概要
2. 蓄電池を取り巻く市場環境
3. 電池エコシステムと実現に向けた課題
4. 松田産業の電池リサイクル事業
5. 自治体や民間企業との連携

「有償化困難品」「損傷品」等への対応

【有償性】 電池の重量比が大きく、プラスチック含有量が少ないものは有償化可能

出典：埼玉県HP 報道発表資料

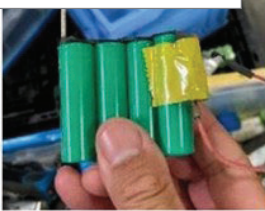
	リチウムイオン電池	ニッケル水素電池	モバイルバッテリー	加熱式・電子たばこ	スマホ・携帯	自転車用電池パック	ハンディファン	電気シェーバー・歯ブラシ
結果*1, 2	○	○	○	○	○	○	×	×

*1 ○：資源価値（R7.1時点の評価）＞処理＋運搬コスト ×：資源価値（R7.1時点の評価）＜処理＋運搬コスト
*2 ドラム缶 5 缶で運搬することを想定して運搬コストを算出

一廃処理許可が必要

【運用上の課題】

未絶縁（安全性）



膨張品(安全性)



ニカド電池の混入



視認性の悪い機器



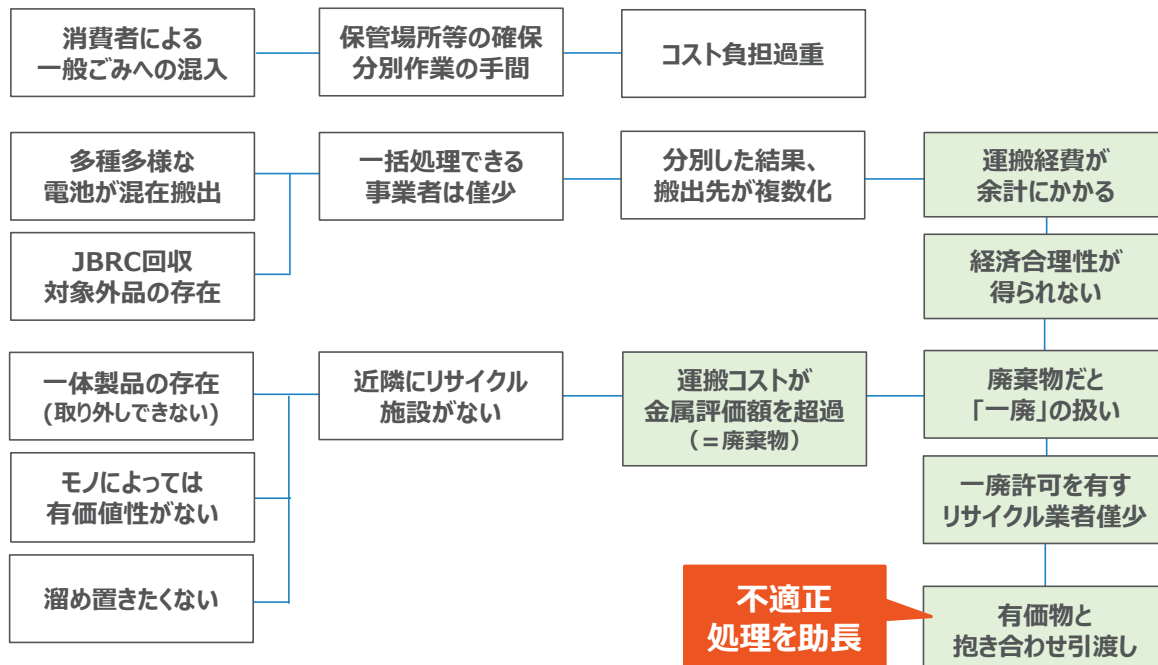
Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

13

「施設拡充」「運搬コスト低減」および「許認可の壁」への対応

適正ルートへの流通量が増えない



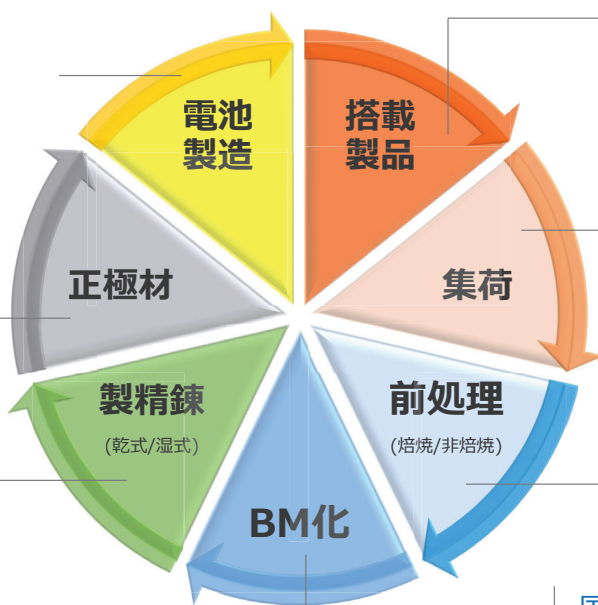
Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

14

電池エコシステム構築には“リサイクル原料確保”が重要

再生原材料の“使いこなし”
再生原材料の“安定供給”
再生原材料の“調達コスト”



安全規格の徹底
違法製品監視の強化
リサイクルマーク等の表示
「一体型製品」に対する措置

広域より安全かつ低コストに集める仕組みの強化

- 【民生】
- ・JBRC回収対象外品への対応
 - ・「一廃扱い」となる蓄電池への対応
 - ・安全な輸送方法／運搬方法のルール化

事業環境の適正化

- ・コンプラ遵守に懸念のある事業者の存在
- ・熱処理施設新設ハードルの高さ
(施設設置許可を得るまでの手続き緩和)

海外事業者との競争力確保
物量確保 (BM輸入促進)

国内製精錬の受入基準に適合する
製造技術確立 (多品種への対応)

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

15

“経済合理性”を念頭に課題解決に向けたサプライチェーン連携が必要

複数ボトルネックが絡み合い
負の連鎖が起きている構造

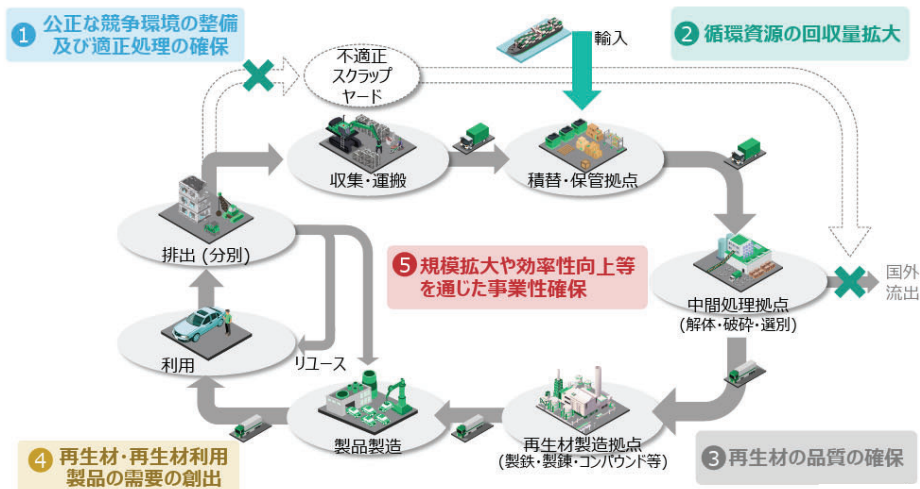
主なボトルネック

- ① 公正な競争環境の未整備**
不適正スクラップヤード問題と、不透明な商流や海外輸出ルートが存在により、公正な競争環境が損なわれている
- ② 原料となる循環資源が集まらない**
経済合理性に基づき、金属資源は海外流出・埋立、プラスチックなどは焼却が優位。海外の輸出管理措置等により循環資源の輸入に課題
- ③ リユース・リサイクル技術等が未成熟**
製造業が使いこなせる品質を供給できる技術やインフラ等が未整備
- ④ 再生材需要・市場が未形成**
再生材の需要を創出するためのルールやインセンティブの不足、再生材利用価値が未浸透で市場が未形成
- ⑤ 資源循環ビジネスの事業性が未確立**
資源循環産業の産業競争力が弱く、規模拡大・高効率化に向けた投資が進まない

目指す姿
(2030~2035年)

ボトルネックへの対処を通じて、負の連鎖を正の連鎖に転換。
資源循環に係る拠点の構築・企業間のネットワーク形成を進め、
再生材サプライチェーンを強靱化。

ボトルネックを踏まえ、以下の①～⑤の方向性を軸として、対応を講じていくべき。



出展：資源循環ネットワーク形成・拠点構築に関する提言～再生材サプライチェーン強靱化に向けて～（環境省）

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

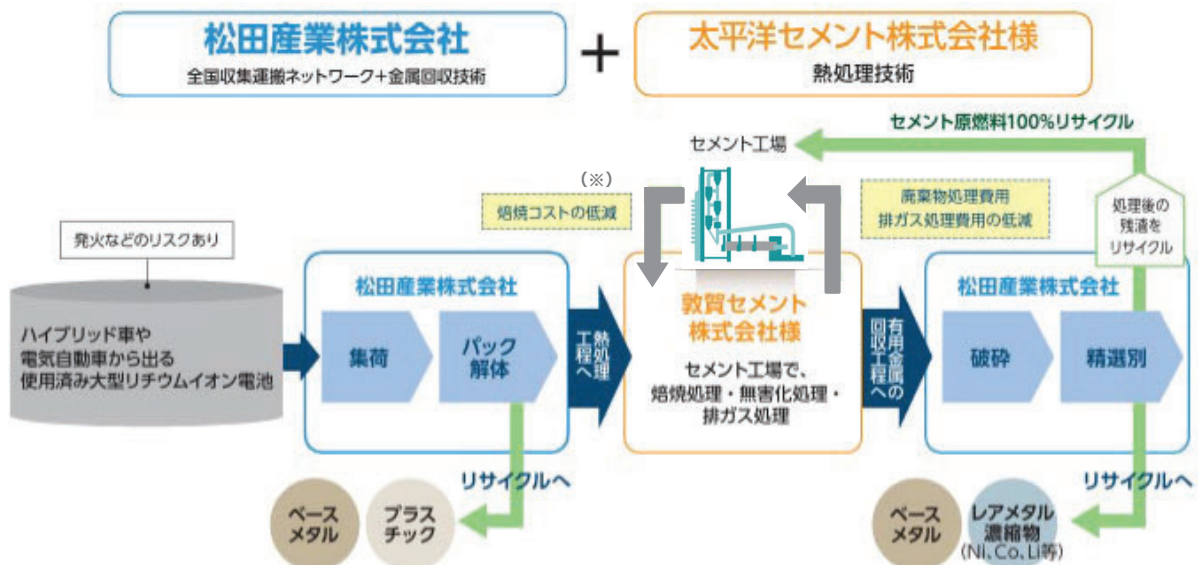
16

Contents

1. 会社概要
2. 蓄電池を取り巻く市場環境
3. 電池エコシステムと実現に向けた課題
- 4. 松田産業の電池リサイクル事業**
5. 自治体や民間企業との連携
6. まとめ

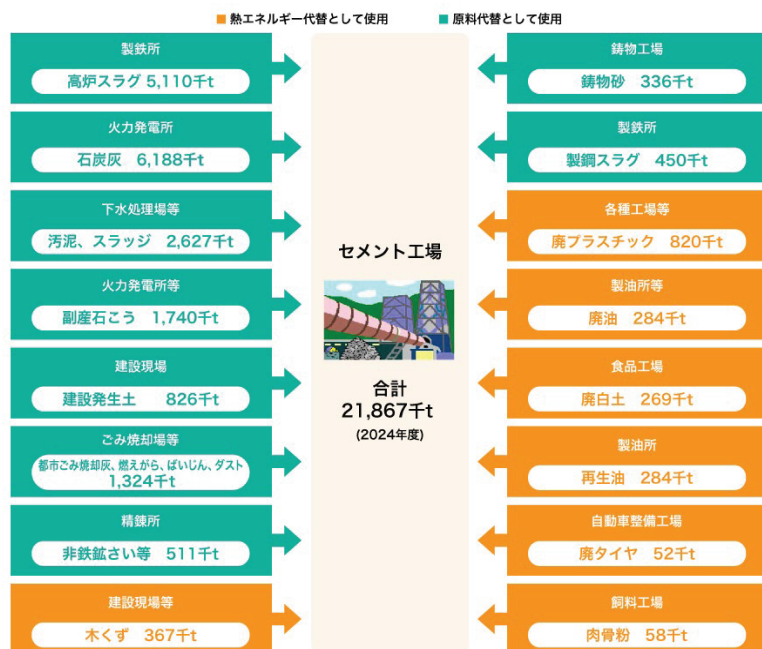
太平洋セメント様との協働事業（専用炉をセメントキルン炉に併設、排ガス処理にキルン炉を活用）

Concept : 金属資源の徹底回収

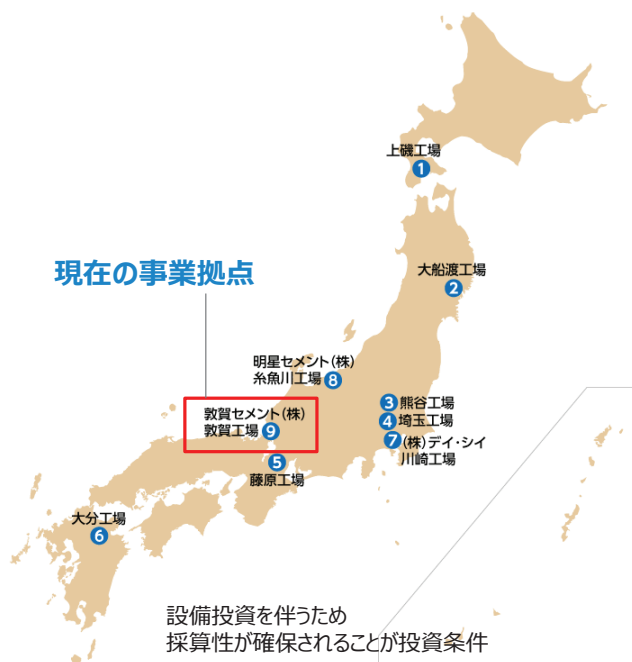


※ 排熱を活用した焙焼は現状は行っておりません

将来的には太平洋セメント様の各工場への横展開も視野



出展：廃棄物・副産物の有効利用（一般社団法人セメント協会）



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

19

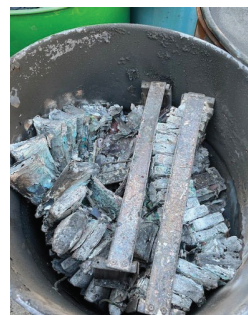
子会社の熱処理設備を活用した無害化処理事業

Concept：多種多様な電池の処理
(受入間口が広さと利便性)



株式会社山陽レック（広島市安佐北区）

- ・ 焼却炉×2基（60t／日、90t／日）
- ・ 「循環型台車炉」をストーカ付きキルン炉に付帯
- ・ 電池種やサイズを問わず受入可
- ・ 産廃中間処分量に加え、一廃処分施設設置許可保有
- ・ 一部の電池種については、熱処理後、破碎選別することで金属資源を回収



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

20

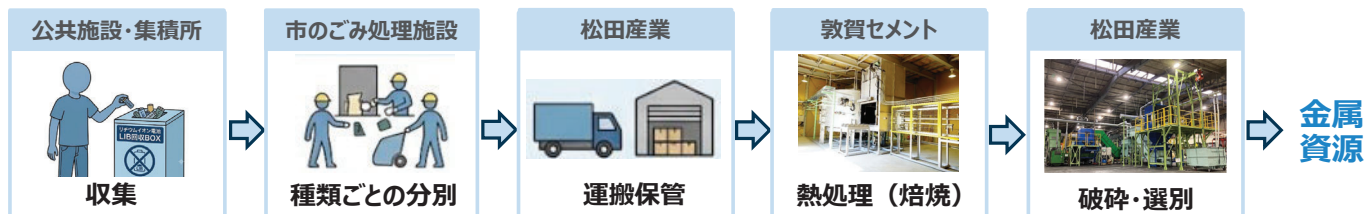
Contents

1. 会社概要
2. 蓄電池を取り巻く市場環境
3. 電池エコシステムと実現に向けた課題
4. 松田産業の電池リサイクル事業
- 5. 自治体や民間企業との連携**
6. まとめ

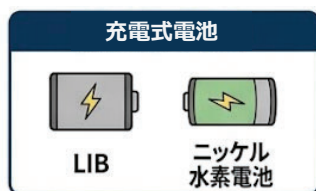
家庭の使用済みリチウムイオン電池等からレアメタル等を回収する実証

～埼玉県、さいたま市、所沢市、狭山市、上尾市、越谷市、川口市及び民間企業が連携したサーキュラーエコノミーの推進～

【実証内容】



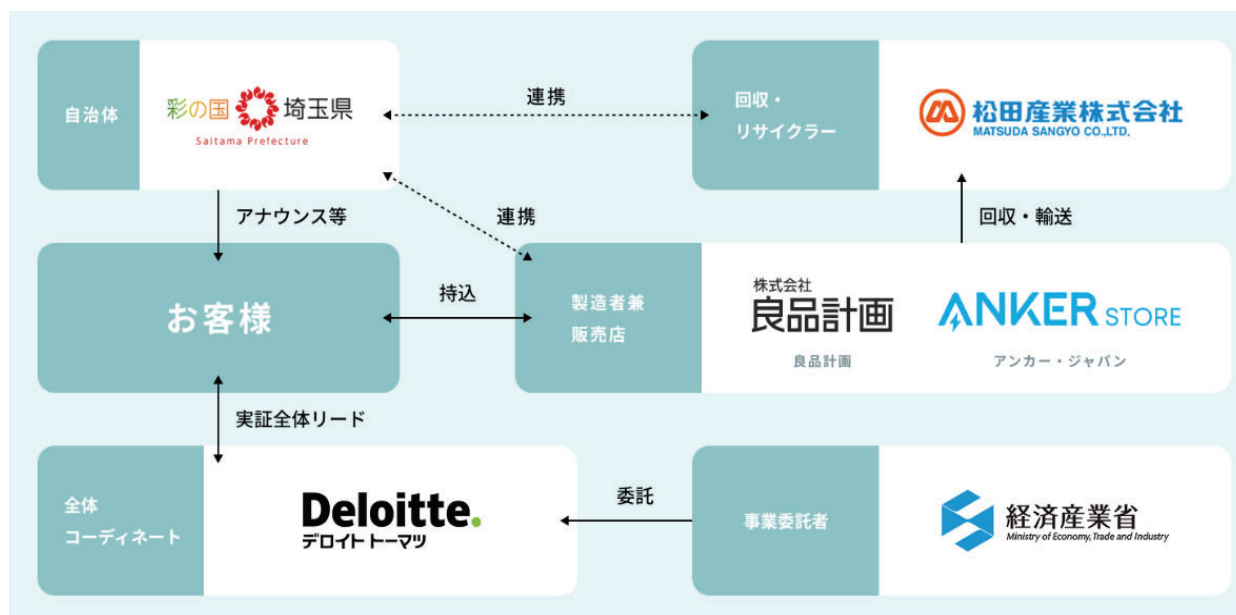
【対象品目一覧】



回収された電池

販売店舗を活用した他社製品を含むリチウム電池搭載製品の回収実証

～「ANKER様」「良品計画様」と連携した動静脈連携回収実証事業～



出典 : <https://corp.ankerjapan.com/posts/593>

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

23

Contents

1. 会社概要
2. 蓄電池を取り巻く市場環境
3. 電池エコシステムと実現に向けた課題
4. 松田産業の電池リサイクル事業
5. 自治体や民間企業との連携
6. まとめ

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

24

- ✓ 車載用及び定置用を中心に、リチウム蓄電池の引き続き高い成長が見込まれる
- ✓ リチウム蓄電池に使用される金属資源の多くは特定国に供給依存
- ✓ 経済安全保障上の観点からも、調達リスクの軽減は重要課題
- ✓ 課題解決の方策の1つが「**使用済製品の有効活用（国内資源循環）**」
- ✓ 民生用途の電池に含まれる金属資源量は無視できない
- ✓ 然しながら、JBRCスキームで回収される民生用途の電池は一部
- ✓ **資源循環を志向していくうえで重要な課題は「リサイクル原料の確保」**
- ✓ **“経済合理性”を念頭に課題解決に向けたサプライチェーン連携が必要**

リサイクル原料を確保し、適正処理から 国内資源循環へ



ご清聴ありがとうございました